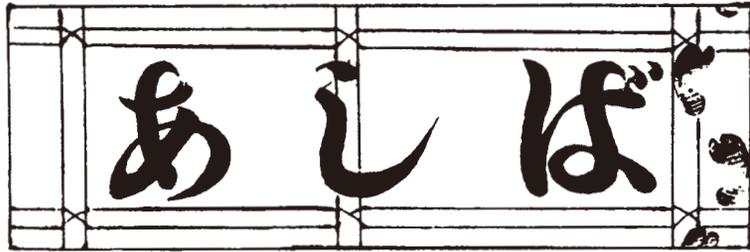


以下の日は組合事務所が閉所となりますのでご注意ください！

3月2日…書記局会議のため

3月11日…重税反対行動参加のため

新型コロナの感染が再度広がっています。感染防止対策をしっかりと行ないましょう！



第507号

発行所  
東京土建一般労働組合  
小金井国分寺支部  
国分寺市東恋ヶ窪2-36-32  
電話 042-324-5940  
発行責任者  
高橋 勇一

# 新春旗びらきは趣向を変えて学習会メインで開催

## 新型コロナが続いても更に運動を進める1年にしよう！

【国③分会・高橋光夫記】  
1月23日(水)午後7時から国分寺労政会館で支部旗びらきが行なわれ43人が参加しました。

後継者対策部長の西澤さんの司会で進行し、鯉淵委員長の年頭あいさつのあと、全建総連元書記次長の清水謙一さんから、情勢を踏まえた「もの見方や考え方」についての話を聞きました。情勢を読み解く力では、岸田内閣による新しい資本主義とはどんなものなのか、新自由主義の克服こそ成長と分配の好循環を

作る、アジア太平洋地域の平和を維持し憲法改悪に反対することが必要だといった話がありました。また、日本の資本主義が劣化するなかで、雇用・賃金・社会保障など国民生活を優先する経済政策が必要で、大企業による新自由主義的経営の転換や、食料・エネルギーの自給率向上などの基盤を確立するという課題が示されました。そして、労働者・国民による闘いが、政治と社会を変える力になることは世界的にも歴史が証明していて、日本の労働運動の前進のために東京土建が果たしてきた役割についても学びました。様々な内容の説明を受けて、参加された皆さんも熱心に講演に聞き入っており大変勉強になりました。私は後ろの席で話を聞いていたのですが、講師の声がよく通って聞きやすかったです。少しでも知識を身に付けたいという思いで集中して話を聞きま



最後は後継者世代の参加者が登壇してガンバロウで締めました！

# 各地域の重税反対行動と集団申告に参加しよう！

日本の申告納税制度は「自主申告・自主計算・自主申告・自主納税」が原則。しかし1960年代後半、税務当局の横暴に対して国民の怒りが広がりました。3・13重税反対全国統一行動は、1970年に第1回の行動が開催され国民の怒りを結集する場として発展。重税に反対し、税金の使い方についても、納税者みずからが意思表示をする行動となつていきます。一時は終息するかに見えた新型コロナナウイルスは、変異を重ねて、感染力の強いオミクロン株が爆発的な蔓延を見せました。このような状況のなか、国は消費税制度を根

◆立川税務署(立川・昭島・国分寺・国立・東大和・武蔵村山)  
【日時】3月11日(金)午前10時から  
【場所】立川緑町公園(立川税務署北側の公園)  
◆武蔵野税務署(武蔵野・三鷹・小金井)  
【日時】3月11日(金)午前9時30分から  
【場所】武蔵野公会堂(武蔵野市南町1-6-22)  
※その他の地域の行動は支部にお問い合わせください。

本から破壊する「インボイス制度」の導入を押し進め、中小零細事業者からも消費税を徴収しようと準備を進めています。また東京都は、コロナ対策をはじめ地域医療で大きな力を発揮してきた都立・公社病院の独立行政法人化を進めています。社会保障と税は表裏一体。とくに消費税は、社会保障の財源に充てられているはずなのに、社会保障制度は改悪の一途をたどっています。このような状況だからこそ、地域ごとの重税反対統一行動に参加して声を上げるのが重要です。行動に参加して一緒に声をあげましょう。

◆立川税務署(立川・昭島・国分寺・国立・東大和・武蔵村山)  
【日時】3月11日(金)午前10時から  
【場所】立川緑町公園(立川税務署北側の公園)  
◆武蔵野税務署(武蔵野・三鷹・小金井)  
【日時】3月11日(金)午前9時30分から  
【場所】武蔵野公会堂(武蔵野市南町1-6-22)  
※その他の地域の行動は支部にお問い合わせください。

### 第五十四回支部定期大会代議員告示

東京土建一般労働組合小金井国分寺支部第五十四回定期大会を組合規約第二十条により左記の通り行ないます。

記

一、日時 二〇二二年四月十七日(日)午後一時三十分開会  
午後四時三十分閉会

一、会場 国分寺労政会館第五会議室

一、代議員 (A)と(B)で構成する。

(A) 基礎定員数三人  
(B) 支部執行委員及び支部執行委員待遇(二十九人)、会計監査(二人)

※特別代議員は青年部、主婦の会、長楽の会から各二人

支部執行委員長 鯉淵 勝也

令和4年になり早くも1カ月が経ちました。今年の仕事はじめが遅く正月休みが長くなりましたが、コロナのこともあり外出は控えたので3キロも太ってしまいました(餅の食べすぎかな?)  
▼餅と言えは正月にはかかせないもの。例年、お正月に喉に詰まらせて亡くなる高齢者が後を絶ちません。嚙む力や飲み込む力が弱まっているためです。この2年間で661人が死亡していますが、その内の約4割が1月中に発生しています。食べる時は1センチ未満に小さく切る、気道に貼りつきのを防ぐため食べる前にお茶を飲んだり雑煮などにする、そして良く噛むことも重要です▼1月の教宣部会。オミクロン株が広がる中ですが、感染防止対策をきちんと行ない9人の参加であれば新年号の感想を出し合いました。①1面の写真(富士山)は正月らしく良かった②「恭賀新年」の意味はうやうやしく新年のお祝いを申し上げます③表紙の写真は仲間が活動している写真が良い④2面は執行委員や常任の顔と名前が載っていたので一致して良かった⑤来年の新年号には教宣部員の写真を載せたいなど色々な意見が出て、新年早々から活気のある部会になりました▼要望があった「間違えがし」は次号から出来るだけ掲載したいと思えます。乞うご期待！



朝顔

# 秋の拡大月間打ち上げ式を開催 大変な時代だからこそ力になれる組合にしよう

【国④分会・小阪昌義記】 目標(44人)を達成して、2少し時間は経過してしまいましたが、昨年の12月15日に国分寺労政会館で秋の拡大月間の打ち上げ式を行いました。そのなかで、秋の仲間増やし月間の活動を振り返り、総括が発表されました。結果としては支部

目録(44人)を達成して、2021年1月現勢比で23人増の1272人の支部を築くことが出来ました。

今回は、コロナ禍での行動となりましたが、そのなかで44人の新たな仲間を迎えることが出来たのは、裏を返せばそれだけ労働環境

の厳しさが増していることの実証でもあります。コロナ支援金制度の情報やインボイス制度の廃止を伝えるべく地道な「顔を見る活動」により、今後もそれらの声をすくい上げて対話してゆくことで、更に仲間を増やす機会につながってゆ

きます。まだまだ今年も先が見えない状況は続いています。そんな時代だからこそ、仲間同士で情報を共有し、助け合って、もつといい組合にしてゆこうと参加者全員が熱く決意を新たにしました。



副委員長がそれぞれの担当分野での東京土建の素晴らしさを説明しました

## 空を見上げるのはやめられない ～今回は「レンズ雲」のお話し～



空にぽっかりとレンズが浮かんでいるように見える雲

《今月のなぞかけ》  
真冬の青天の空にかけて  
山の炭窯の作業場と説く。  
その心は…… すみきって  
(澄み切る・炭き)いん。

【国①分会・篠崎弘記】 強風が吹いているときやこれから風が強まるような日には、凸レンズを横から見たような形の雲「レンズ雲」が現れることがあります。この形は、ほとんどの種類の雲にも見られますが、高積雲による雲は特に見た目が美しいとされ、太陽の近くを通りかかった雲が緑や赤に彩られると「彩雲」になることがあります。

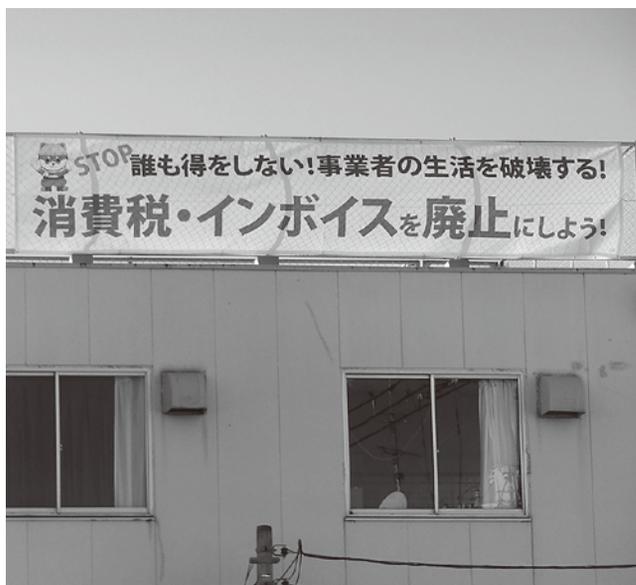
世界的にもレンズ雲の発生は悪天候を知らせるものとして知られているそうです。空を見上げた時に、もし、レンズ雲を見たら、外出の予定を考え直した方が良いでしょう。

### インボイス制度導入絶対反対!

#### 外にもアピールして廃止にするゾ

お気づきの方もいるかも知れませんが、組合事務所の上に横断幕を新設しました。中小零細事業者の生活を広げましょう!

活を破壊するインボイス制度。外にも大きくアピールして、制度導入反対の運動を広げましょう!



ご冥福をお祈りいたします

直 属・2群 渡邊孝子 さん  
事業 所・6群 齋藤貴美 さん

8月号まちがいがしへの回答 ①左から2番目でそばを食べている人のシャツのすそ ②踏切の停止線の数 ③電車の屋根のアンテナ ④踏切に立っている右側の子の右足 ⑤踏切の右側の支柱の長さ ⑥右上の樹木の枝 ⑦バス停の時刻表の大きさ

◇8月号の間違えがしの当選者…今回の該当者はいませんでした。

7つのマチガイ

[問題]上の絵と下の絵では7つのマチガイがあります! どこでしょう? (作・野上和彦)